

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁港漁場月報

平成31年3月15日 発行
 毎月 1回15日発行
 編集兼発行人 公益社団法人 全国漁港漁場協会
 橋本 牧
 東京都港区赤坂1-9-13三會堂ビル8階
 電話 東京(5114)9981
 定価 1部 70円
 (会員の購読料は会費の中に含む)

平成30年度 漁港漁場関係 担当課長会議を開催

基盤整備事業、水産改革と連動して推進

水産庁は、2月16日農林水産省7階講堂において、平成30年度漁港漁場関係担当課長会議を開催し、都道府県漁港漁場整備担当課長ら関係者約120名が出席した。

最初に、長谷成人水産庁長官から「昨年未だ水産改革関連法案が成立し、同タイミングで成立した入管法も我が国が本格的な人口減少の時代を迎えたとの危機感から出ている。社会も変わらなければいけないし、水産もその中の一つ。加えて、海洋環境の変化や周辺海域での外国漁船の操業等水産を巡る環境が大きく変化している。日本の漁業の将来を見据え、水産資源の底上げと漁場の有効利用を見直すための水産改革である。このように改革を促す声が高まり、平成31年度予算と補正予算では300億円の確保ができた。その中で水産基盤整備事業については、水産改革と連動して事業を進める必要がある。各課から前向きな取組を出していただくよう、皆様のご支援とご協力をお願いしたい」と挨拶があった。

続いて、岡貞行漁港漁場整備部長から、「東日本大震災からすでに8年が経過し、来月には気仙沼魚市場が完成する。これまでも各課のご支援に感謝する。近年、自然災害が多発しているが、何かあれば水産は主力でお手伝いする。平成31年度水産基盤整備事業の算は、防災減災対策の特別枠を加えると300億円の大型予算となる。水産改革元年となるので有効に用いたい。海岸事業は、交付金が少ないと言われているが増額しており、交付事業の一部を補助形式にするなど拡充している。長期計画の中にある漁村の賑わいの創出に力を入れている。漁村を元気づけたためには水産が元気づけなければいけない。また、人を漁村に呼び込むため、例えば、クルーズ船からのお客を漁村にも受け入れることも知恵を出していただきたい。漁港の有効活用については、水域陸域の規制緩和の検討を進めており、漁業者の方にも活用を呼びかけていた。また、水産多面的機能も大事。海の監視活動を拡充しており、災害が発生したときの流水や土砂対策にも活用できるが、活動組織がないとすぐに対応できない。事前に活動組織を作り準備をお願いしたい。また、事業の実施先日成立しており、円滑な執行をお願いするとともに、的確な運用及び働き等に基づき対応もお願いしたい。また、担当課長は市町村が漁港管理者は市町村が、水産基盤整備事業の担当者も、的確な運用及び働き等に基づき対応もお願いしたい。」との挨拶があった。

担当者各課の業務を説明

引き続き、各課の説明(渡邊浩一 下席漁港漁場専門官) 水産基盤整備事業係 計画課長より、計画課所管業務について、担当者から所管業務について説明があった。

平成31年度予算概算決定等の概要、水産基盤整備関係事業(内田智事 課長) 事業基本計画変更の検討、地方財政措置等(中村克彦 課長) 漁港機能推進事業及び地方創生推進事業(宮本博文 課長) 漁港の有効活用(澤田龍治 課長) 次、山本竜太郎整備部長より、事業の確実な執行の要請として、整備課所管業務について、担当者から所管業務について説明があった。

水産庁

災害復旧事業予算(内山裕三 課長) 被災者生活再生活支援法(濱の活力再生プラン)のうち漁村地域の活性化として、講師による話題提供とそれを踏まえた意見交換が行われた。

関係者として、橋本会館(一漁村女性セミナー)は、平成30年度が開催されており、漁村を取り巻く環境が大きく変化している中で、その時々、様々な課題を語り合うセミナーを続けてきた。今年もこのように開催されたこと感謝している。また、指板の活動は、美味い水産物を消費者に届けること、浜に多くの人に來いいただき、浜の賑わいを出すような活躍をされたらと、他の産業の人たちとも手にお付き合いをされることにより、活動が更に広がり、意義のあるものになるのではないかと考えている。

参加を得て開催した。今年度のテーマは「漁業と他業種との連携」として、講師による話題提供とそれを踏まえた意見交換が行われた。

関係者として、橋本会館(一漁村女性セミナー)は、平成30年度が開催されており、漁村を取り巻く環境が大きく変化している中で、その時々、様々な課題を語り合うセミナーを続けてきた。今年もこのように開催されたこと感謝している。また、指板の活動は、美味い水産物を消費者に届けること、浜に多くの人に來いいただき、浜の賑わいを出すような活躍をされたらと、他の産業の人たちとも手にお付き合いをされることにより、活動が更に広がり、意義のあるものになるのではないかと考えている。

6次産業化などによる地域活性化の事例を紹介

最初に、神奈川県立高校は利益を上げて奈川6次産業に利益が戻っていることを紹介した。また、「鎌倉海産物」を推進員・鎌倉漁協食料ドバイサーの矢野ふき子氏(鎌倉市で料理教室・鎌倉海産物)から「海産物(加工)・③畜産業者が海産物を買い取り、ブランド豚を生産する」と題して紹介した。次に、東海大学海洋学部 沼津海洋学教授の関野いづみ氏から「様々な種類の連携による事例紹介」と題して紹介した。次に、東海大学海洋学部 沼津海洋学教授の関野いづみ氏から「様々な種類の連携による事例紹介」と題して紹介した。次に、東海大学海洋学部 沼津海洋学教授の関野いづみ氏から「様々な種類の連携による事例紹介」と題して紹介した。

平成30年度 漁村女性セミナー開催

全国漁港漁場協会



セミナーの様子

おいて、平成30年度漁村女性セミナーを、全国の漁村で活躍している女性を呼びこむことを目的として開催された。全国漁港漁場協会の協賛で、2月27日(水)午後2時より、東京都港区のDAYS赤坂見附にて開催された。

本日のテーマは、「漁業と他業種との連携による漁村地域の活性化」ということで開催した。講師の方々は、鎌倉市と海産物を活用した「鎌倉海産物」の取組を紹介した。矢野ふき子氏(鎌倉市で料理教室・鎌倉海産物)から「海産物(加工)・③畜産業者が海産物を買い取り、ブランド豚を生産する」と題して紹介した。次に、東海大学海洋学部 沼津海洋学教授の関野いづみ氏から「様々な種類の連携による事例紹介」と題して紹介した。次に、東海大学海洋学部 沼津海洋学教授の関野いづみ氏から「様々な種類の連携による事例紹介」と題して紹介した。

「漁業と他業種との連携」テーマに

平成30年度

漁港漁場講習会を開催



講習会の様子

全国漁港漁場協会

【公社】全国漁港漁場協会の橋本牧会長から「この講習会は、昭和42年から毎年開催しており、52回目の開催となる。都道府県や市町村の実務を担当している方々にとり、最新の情報が得られるよう努めている。昨年は漁業法の改正が行われるなど大きな動きがあり、予算も増えつつあり、

【公社】全国漁港漁場協会の橋本牧会長から「この講習会は、昭和42年から毎年開催しており、52回目の開催となる。都道府県や市町村の実務を担当している方々にとり、最新の情報が得られるよう努めている。昨年は漁業法の改正が行われるなど大きな動きがあり、予算も増えつつあり、

【公社】全国漁港漁場協会の橋本牧会長から「この講習会は、昭和42年から毎年開催しており、52回目の開催となる。都道府県や市町村の実務を担当している方々にとり、最新の情報が得られるよう努めている。昨年は漁業法の改正が行われるなど大きな動きがあり、予算も増えつつあり、

第32回 福岡県市町水産関係職員研修会

福岡県漁港漁場協会



受講者の様子

（一社）福岡県漁港漁場協会（会長・佐藤政俊 福岡県漁業会長）は、2月26日（火）福岡市内の「福岡県中小企業振興センター」において、第32回福岡県市町水産関係職員研修会を開催した。当研修会は、福岡県の協力のもと漁港漁場協会が

（一社）福岡県漁港漁場協会（会長・佐藤政俊 福岡県漁業会長）は、2月26日（火）福岡市内の「福岡県中小企業振興センター」において、第32回福岡県市町水産関係職員研修会を開催した。当研修会は、福岡県の協力のもと漁港漁場協会が

（一社）福岡県漁港漁場協会（会長・佐藤政俊 福岡県漁業会長）は、2月26日（火）福岡市内の「福岡県中小企業振興センター」において、第32回福岡県市町水産関係職員研修会を開催した。当研修会は、福岡県の協力のもと漁港漁場協会が

災害復旧協定を締結

水産土木建設技術センターと鋸南町

（一社）水産土木建設技術センター（全額神楽川理事長）は、3月10日同センター内において、

（一社）水産土木建設技術センター（全額神楽川理事長）は、3月10日同センター内において、

（一社）水産土木建設技術センター（全額神楽川理事長）は、3月10日同センター内において、



調印式での宇賀神理事長（中央）と白石町長（その右）

漁港往来

2月2日（土）
全国漁港漁場協会
橋本会長は沖繩県へ出張

2月12日（火）
全国漁港漁場協会
橋本会長は佐賀県へ出張

2月27日（水）
長崎県漁港漁場協会
会事務局次長川田信英氏

2月28日（木）
愛媛県漁港漁場協会事務局長若洲博文氏

ながさきSUISAN・ウィンタースクール開催

（一社）長崎県漁港漁場協会（会長・長崎県漁業会長）は、2月20日（日）ながさきSUISAN・ウィンタースクールを、長崎市内のホテルセントヒル長崎で開催した。

（一社）長崎県漁港漁場協会（会長・長崎県漁業会長）は、2月20日（日）ながさきSUISAN・ウィンタースクールを、長崎市内のホテルセントヒル長崎で開催した。

（一社）長崎県漁港漁場協会（会長・長崎県漁業会長）は、2月20日（日）ながさきSUISAN・ウィンタースクールを、長崎市内のホテルセントヒル長崎で開催した。



挨拶する比田勝尚喜会長

産庁漁港漁場整備部防犯課 漁村課海産整備係長 中瀬 潤